

令和 8 年度
日本産業動物獣医学会（富山）

期 間 令和 8 年 9 月 6 日（日）
会 場 ホテルグランテラス富山
3F 薫風
富山市桜橋通り 2-28

口演・質疑要領

発表者は、「発表者受付」で、口演手順・機械操作等の説明を受けてください。

1. スクリーンは1面とする。
液晶プロジェクター操作用パソコンのOSはWindows11を使用し、スライドショーにはPowerPoint 2021 (Windows版)を使用する。
2. 口演発表は1題8分、質疑応答は2分以内とする。
(1) 口演開始で緑ランプ、口演終了1分前に黄色ランプ、発表終了時に赤ランプが点灯して、ブザーが鳴ります。発表後に質疑応答時間を加えた10分を経過するとブザーが鳴ります。
(2) 質疑応答は2分以内で座長の指示に従う。
3. 口演用のPowerPoint ファイルは、「学会口演申込・抄録記入要領」に従って作成する。
4. 次演者は、前の口演開始とともに必ず次演者席に座り待機すること。
5. 演者は発表にあたり、パワーポイント操作は自身で行うこと。(演台のモニターには発表者ツールが表示されています。)
6. 質問者または追加討論者は、所属と氏名を述べてから発言すること。
7. 追加討論者の採択および時間は座長の指示に従うこと。
8. 液晶プロジェクター操作用パソコンに入力した口演用ファイルは、学会終了後、速やかに地区学会会長立会いのもとで消去する。

研究発表審査要領 (産業動物)

1. 審査方法
(1) 審査は、審査基準に定める5項目について、5点満点で採点する。
(5点:きわめて優れている、4点:優れている、3点:普通、2点:やや劣る、1点:劣る)
(2) 採点は演題ごとに審査員が審査採点表に記入する。
(3) 演題ごとの審査採点表の総合計点数を審査員数で除して平均点を算出し、その平均点を各演題の評価点数とする。
(4) 演者または共同研究者である審査員は当該演題の採点をしない。
2. 審査基準
(A) 内容が新しく、目的が明確か(着想、背景)
(B) 内容が学理的か、論旨が適切か(組み立て、まとめ方)
(C) 結論は正しいか(結果の考察、論理性)
(D) 実際に役立つか(学問的貢献度、現場・実際への応用度、普及的な価値)
(E) 発表の方法は適切か(発表時間の遵守、スライド図式・図表の作成)
3. 学会長賞の選考
各演題の評価点数に基づいて原則として順位1位から5位までの中から協議により優秀研究発表(地区学会長賞)を選出するが、同点の時は首座をつとめる地区学会長の意見を加えて決定する。

令和8年度 日本産業動物獣医学会(中部地区)口演プログラム

No.	演 題 名	発表者		座 長	開 始 予定時間
		氏 名	所 属		
1	乳牛へのコーヒー抽出かす飼料の給与が暑熱期の体細胞数に与える効果	キツカワ マナブ 橋川 学	静岡県	小林 弘明	8:45
2	迅速・簡便・高感度な牛マイコプラズマ乳房炎4菌種検出法の確立	サトウ ケイスケ 佐藤 圭介	新潟県	小林 弘明	8:56
3	ホルスタイン種子牛における肝臓微小血管異形成による肝性脳症と診断した一症例	ヤマグチ カナ 山口 香菜	富山県	田中 知未	9:07
4	管内肉用牛農場で発生した <i>Fusobacterium necrophorum</i> により多臓器に病変形成を認めた一症例について	ナガサワ ケンタ 長澤 健太	富山県	田中 知未	9:18
5	肥育素牛における捻転式去勢術の検討	タケヤマ テツヤ 竹山 哲矢	石川県	大場 恵典	9:29
6	ポリアクリル酸ナトリウムを使用した誤嚥性肺炎の1症例	タケウチ ヒロコ 竹内 弘子	富山県	大場 恵典	9:40

《休 憩》

7	黒毛和種における採胎間隔の短縮による体内胚生産・繁殖成績への影響	ヨシタ エミ 吉田 恵実	石川県	野田 準一	10:10
8	卵子回収条件およびメラトニン添加成熟培養がウシ体外胚の品質と耐凍性に及ぼす影響	フクドメ シンジ 福留 信司	新潟県	野田 準一	10:21
9	OPU 実施時の吸引溶液の保温時間が体外受精卵の発生に及ぼす影響	フジモリ ユウキ 藤森 祐紀	長野県	蓮沼 俊哉	10:32
10	めん山羊飼養農場における肝蛭症の発生事例	オチイ マサフミ 落井 真史	福井県	蓮沼 俊哉	10:43
11	静岡県内で分離されたサルモネラ属菌の血清型と薬剤耐性状況調査	ウエマツ ヨウコ 植松 瑤子	静岡県	橋本 淳一	10:54
12	豚熱ワクチン2回接種間隔が免疫付与率に及ぼす影響と1回接種との実証的評価	クワタ ケイスケ 桑田 桂輔	岐阜県	福田 藤子	11:05
13	豚熱 ELISA キット2種における血清非働化処理の有無による比較検証	コヤス ミキ 子安 美紀	岐阜県	福田 藤子	11:16

※ランチョンセミナー（日本獣医師会／獣医療提供体制整備推進協議会主催） 12:15～12:50

講演名：「我が国の獣医師をめぐる現状」～獣医師に求められる倫理観や最近の獣医療体制について～

講 師：寺野 貴之（農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課 課長補佐）

《 昼 食 》

No.	演 題 名	発表者		座 長	開 始 予定時間
		氏 名	所 属		
14	食味センサーを用いたマイロ給与豚肉の食味評価に関する予備的試験	コバヤシケンイチロウ 小林憲一郎	長野県	鈴木 雅大	13:00
15	名古屋種における暗期の導入が羽つつきに及ぼす影響	ヨシダ アイミ 吉田 愛実	愛知県	土井 収	13:11
16	愛知県内で発生した採卵鶏およびうずらにおける H5N1 亜型高病原性鳥インフルエンザの病理学的検索	ナカムラ トモキ 中村 智貴	愛知県	篠川 有理	13:22
17	採卵鶏で発生した尿石症の一例	キムラ ユウタ 木村 祐太	石川県	篠川 有理	13:33